

増田地域協議体（支えあいますだねっと）の活動について

○事業を進める背景

現在“超高齢化社会”を迎えており、今後更に高齢化が進むと予想されています。一方では支え手である若い世代の人口は減少しつつあり、将来的には次のような影響があると言われています。

- ・支援を必要とする方が増加→税金や介護保険料が増える。
 - ・担い手、支え手が不足→様々な支援活動やサービスが減ってくる。・・・など
- ～横手市でも支え手不足が予想されています。～



○事業の内容

この事業は、地域の支え合いを更に発展・推進させる“地域づくり”の取り組みであり、その主体はもちろん地域住民です。この取り組みを進めるために横手市全域及び8地域において、住民主体の『協議体』の設置と『生活支援コーディネーター』を配置します。

- ・協議体とは・・・地域の社会資源の発掘や課題の発見と解決策の協議などを行いながら、地域の支え合い活動を発展・推進していく場です。
- ・生活支援コーディネーターとは・・・地域の社会資源を発掘や様々な人・専門職・団体等のつながりを深めるなど、地域の支え合いを進めるための調整役を担います。

○増田地域協議体として

増田地域では平成28年3月に協議体を立ち上げ、構成員メンバーとしては行政、保健師、社協、介護事業所、商工会青年部、共助運営体などの代表者で構成されております。

これまで、月1回会議を開催してきており、増田地域における困りごと内容とそれに対する具体的な解決策を洗い出して内容を整理したところ、『集まる場所・居場所づくり』が最も重要で実現可能な支援策であると認識し、取り組みとして『増田庁舎1階フリースペース』に情報発信用としての増田地域マップを設置することとなりました。マップの効果としては、①活動の活性化が図られるとともに、参加者が増え人とのつながり強化も期待出来る、②気軽に立ち寄れるフリースペースにマップを設置することで、情報の発信者、利用者そして足をとめる方が増え、人の流れが大きくなり、おのずと「集まる場所」としての雰囲気作り上げられる見込みがある、③一般住民からも情報が得られる・・・などの効果が期待出来ると思われまます。このたびマップ作成について協議した結果、『支えあいますだまっぷ』が完成し平成29年4月17日に設置する運びとなりました。

◆増田地域協議体（支えあいますだねっと）の会議風景



作成：支えあいますだねっと事務局

横手市社会福祉協議会 増田福祉センター

～マップに情報を掲載したい方は事務局までご連絡下さい～

45-4848 (増田地域局2階)